

令和 5 年

奥州市教育委員会会議録

第 2 回定例会 2 月 24 日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和5年2月24日（金）午後3時5分

閉会 令和5年2月24日（金）午後4時35分

開催場所 江刺総合支所4階 大会議室

2 出席委員の氏名

	高	橋	勝	委員（教育長）
1 番	吉	田	政	委員（教育長職務代理者）
2 番	高	橋	キエ	委員
3 番	藤	田	登茂子	委員 ⇒ 欠席
4 番	松	本	崇	委員

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

浦川彰教育部長、松戸昭彦教育総務課長、佐藤克洋学校教育課長、菊池長学校教育課主幹、鈴木常義歴史遺産課長、岩淵浩協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長補佐

事務職員出席者：千田俊輔教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件（議事日程第1号）

第1 会期の決定

第2 教育長報告 生徒指導について

第3 議案第1号 県費負担教職員（奥州市立小中学校の校長）の人事異動の内申について

第4 議案第2号 議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

第5 議案第3号 令和5年度入学分奥州市奨学金（入学準備金）の貸与の決定について

5 会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、秘密会とする議決（教育長報告「生徒指導について」、議案第1号及び議案第3号）、秘密会とした教育長報告「生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみ、議案第1号及び議案第3号については審議の結果のみを公表することの議決、議案の審議

第1 会期の決定について

本日1日と決定

第2 教育長報告

1 生徒指導について

詳細について、佐藤克洋学校教育課長が資料に基づき説明

以上で教育長報告を終わる。

第3 議案第1号 県費負担教職員（奥州市立小中学校の校長）の人事異動の内申について

松戸教育総務課長が議案を朗読、浦川教育部長が提案理由を説明し、補足説明を佐藤学校教育課長が行った。

原案可決

第4 議案第2号 議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

松戸教育総務課長が議案を朗読、浦川教育部長が提案理由及び補足説明を行った。

【提案理由】

- ・ 議案第2号については、令和5年第1回奥州市議会定例会において、市議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、市長から当委員会の意見を求められたが、教育委員会を招集するいとまがなかったことから、「教育長に対する事務委任等に関する規則」の規定に基づき臨時代理処理を行った。具体的に申し上げますと、資料No.1の8ページのとおり、市長に対し意見の回答を行った。については、この処理に対し、同規則の規定により当委員会の承認を求めるため、本案を提出するもの。

【補足説明】

- ・ 令和5年第1回 奥州市議会定例会に市長が提案する議案のうち、教育委員会に関するものは、議案4件となっている。
- ・ 議案第1号「教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて」については、教育委員会の藤田登茂子委員の任期が令和5年3月31日をもって満了するため、その後任の委員の任命に関し、議会の同意を求めようとするもので、任期は、令和5年4月1日から4年となる。
- ・ 議案第6号「奥州市学校林条例の一部改正について」については、江刺地域に設置する小学校の統廃合に伴い、利用及び活用を行わないこととする学校林をその指定から除外するため、本条例を一部改正しようとするもので、改正の内容は、奥州市立藤里小学校、伊手小学校、人首小学校、木細工小学校、玉里小学校、梁川小学校、広瀬小学校の学校林を削ったことであり、施行期日は、令和5年4月1日とするもの。
- ・ 議案第22号「令和4年度奥州市一般会計補正予算（第13号）」については、執行見込みによる委託料等の減額、江刺愛宕小学校貯水槽ポンプ等の施設等修繕料の増額などの所要の補正を行うもの。10款教育費に関しては、歳出を1億1千585万6千円減額し、予算総額を47億7千654万2千円とするもの。
- ・ 議案第33号「令和5年度奥州市一般会計予算」について、令和5年度当初予算における10款、教育費の総額は、62億9千752万8千円で、主な事業については、令和5年度主要施策の概要のとおりである。

【質疑等】

吉田委員：令和４年度の学校給食について、物価高騰している中で予算が減額されている。十分に使われなかったのはもったいなかったが、この辺はどうなのか。

浦川教育部長：学校給食で物価高騰により上がった分は、補助金で対応している。

予算が足りなくならないように上乘せして予算要求しており、十分な給食を提供した上で、残った予算を減額している。今年度はコロナの交付金で1,700万円を上乘せし、個人の負担を増やさないようにした。来年度はこの分を市の単費で賄い、国の措置がなければ再来年度から上げる方向で検討しなければならない。

菊池学校教育課主幹：不登校やコロナでの給食停止により、減額となった部分もある。

高橋委員：AIドリルについて、モデル校での実証結果はどうだったか。

菊池学校教育課主幹：問題点はなく、活用してよかったという結果であった。前沢中学校でAIドリル２種類を使用しており、来年度以降の参考にする。

高橋委員：持ち帰りについて、新年度のいつ頃からスタートできるのか。

菊池学校教育課主幹：不登校については個々の状況に応じ、できるところから取り組んでいる。新年度は全校で取り組む予定だが、AIドリルの購入等に時間を要するため、夏休み以降からと考えている。準備ができた学校から順次進めていきたい。１台１台設定しなければならず、クラス替え等もあるため４月からすぐ使える状況にはならない。

松本委員：AIドリルで先生の負担は軽減されるのか。

菊池学校教育課主幹：紙ベースのドリルは丸付けをしなければならないが、AIドリルはその必要がなく、自分に合った問題を出す等様々な機能があり、楽になると考えている。

松本委員：予算的なメリットはあるか。

菊池学校教育課主幹：AIドリルには毎年２千万円の予算が必要である。紙のドリルに係る費用は、公費ではなくPTAで出している。来年度から紙のドリルを全てなくすわけにはいかないと思っているが、再来年度からは紙のドリルがなくなり、親の負担もなくなると思っている。

浦川教育部長：パソコンが１台６万円で、５年間で換えなければならないと言われており、毎年約１億円かかる。予算的には厳しいが、先生の負担軽減、子どもたちの学習能力の向上につながればメリットがあると思う。

吉田委員：まだトイレの改修が必要な学校があるのか。

松戸教育総務課長：令和４年度の洋式化率は、小中の合計で52%を見込んでいる。

浦川教育部長：今後５年間であと10%上げる計画である。

松戸教育総務課長：新年度は小学校２校、中学校１校を予定している。

吉田委員：図書館司書が配置されていない学校はあるか。

佐藤学校教育課長：ないが、兼務はある。

吉田委員：教育行政方針で特別支援教育支援員を増員するとあったが、どこの学校でどのような子どもたちを対象にするのか。

佐藤学校教育課長：江刺第一中学校への増員を考えている。毎年、小中学校１名ずつとしていたが、今年度は小学校に２名だったため、来年度は中学校に２名とした。

吉田委員：若柳小学校と胆沢愛宕小学校、姉体小学校と黒石小学校の統合に係る改

修はどのような内容か。

松戸教育総務課長：姉体小学校にあつては、屋根の改修がメインとなり、若柳小学校にあつては、外壁、屋根の改修がメインとなる。また、照明のLED化、トイレの洋式化も進める。若柳小学校は、スクールバスの乗降場所の整備もある。

浦川教育部長：統合であるため補助金が活用できることから、併せてLED化、洋式化を進めることとした。

松本委員：スクールバスの置き去り防止装置はどういうものか。

菊池学校教育課主幹：具体的な物は決まっていないが、エンジンを停止したときにブザーが鳴り、後部へ行って確認しブザーを止めるという形だと思う。1台当たり約20万円で、30台分を見込んでいる。入札により安くなることもあり得るが、補助金の基準額が20万円であることから20万円で見込んだ。幼稚園、保育園は全額補助で、小学校は2分の1の補助である。

高橋委員：小学校のエアコンの移設について、4校4室の内容は。

松戸教育総務課長：水沢小学校、常盤小学校、真城小学校、岩谷堂小学校の校長室への移設である。

高橋委員：これにより全ての学校の校長室に設置となるのか。

松戸教育総務課長：まだ全ての学校への設置にはならない。予算の状況により進めたい。

高橋委員：閉校により使用しなくなるエアコンの数は。

松戸教育総務課長：人首省、木細工小、梁川小の職員室には設置されていなかった。保健室は全部入っていた。パソコン教室は藤里小、木細工小、梁川小に設置されていなかった。機器の大きさ等を考慮し、適切に移設を進める。補助を受けて設置しているため、教育現場への設置が原則である。移設しない機器は、そのままにしておく。外すだけでも予算が必要である。大きさにもよるが、1台当たりの移設に100万円ほどかかり、新設よりいくらか安価である。

浦川教育部長：古いものを移設するより、新設した方がよいともあり得る。

吉田委員：社会教育指導員は今もいるのか。

岩淵生涯学習スポーツ課長補佐：本庁に3名のほか、各総合支所に単費で配置している。

吉田委員：家庭教育支援事業とはどのような事業か。

岩淵生涯学習スポーツ課長補佐：主に幼稚園や保育所の親を対象にした講演会等である。

吉田委員：ユネスコ世界無形文化遺産への登録に関係する事業はないか。

鈴木歴史遺産課長：各地域の郷土芸能祭、用具の更新等に係る助成を予算要求しており、3月にも特別講演を予定している。各団体の相談に応じながら進めたい。

討論なし

採決の結果、原案のとおり決することに全員異議なし

原案可決

第 5 議案第 3 号 令和 5 年度入学分奥州市奨学金（入学準備金）の貸与の決定について

松戸教育総務課長が議案を朗読、浦川教育部長が提案理由を説明し、補足説明を松戸教育総務課長が行った。

原案可決

閉会